

報告 発達障害を持つ子どもとその親の支援のあり方について

1 知恵の輪会について

第8回知恵の輪会を実施（H21年11月17日）

参加者：22名 保育士、市立幼稚園教諭、小学校教諭、心の相談員
あさひ学園職員、保健師

スーパーバイザー：臨床心理士

事例：3歳。知的障害（A判定）の児について検討

特定の保育士にしか要求を伝えられない。児の思いどおりにならないと特定の保育士を叩く。集団が苦手（他の保育士には要求を出さない）。感覚過敏有り。作品展の絵が描けない。要求はどこまで受け止めればよいか。等

今回は、小学校教諭、心の相談員の参加、スーパーバイザーとして臨床心理士のアドバイス（発達に沿ったかかわり方、児の特徴をいかしたかかわり方）もあり事例検討も有効なものとなった。

2 成長記録について

10月に成長記録の認知度についてのアンケートを実施予定であったが、アンケートの修正等あり実施が遅くなっている。

12月上旬の部会時に内容、実施方法を検討し実施予定となっている。